

池田町長 3 期目スタート



中越 一俊

問 政策を町民に訴えるべき

答 機会あるたびに政策提言

中越 無投票の状況下とはいえ、基本政策を訴えるべきではなかったか。

池田町長 告示までに候補者として報告会などは開催していません。毎年、地区座談会をはじめ、様々な会議など目的に関する話はさせて頂いた。指摘の様に十分に町民の皆様は伝わっていないとすれば反省し、今後は機会あるごとに行政の現状報告を行い、皆さんの声を聞きながら行政を進めていく。

施政方針
への
一般質問

中越

問

保育士の確保を真剣に

しっかりと対応していく

慢性的な保育士不足に対し、具体的対策を怠つてきた行政の責任は極めて重い。現場の声等も参考に早急に対応すべきだ。

池田町長

高知県全体で保育士の人数が減ってきている。この対策には県あげて取り組むよう要望もかけていきたい。本町においては、正職の募集をかけても町外の応募は一人もいない状況で、今後更に不足の事態が予想される。28年の募集結果から、今後しっかりと対応をしていく。

川上教育長 少子高齢化社会のもと、雇用の方は多くても労働人口が足りない。保育士に関わらず他の職種においても人が足りていない状況。待遇等に関しては今後協議していく。

問 学力向上対策の継続は

答 強力に進める

池田町長 昨年4月の調査では一定の成果が見られたが、あくまで1年の部分である。今後はまだ先が見えていない状況で、気を緩めてしまうとすぐに落ちてしまう可能性もある。引き続き学力対策室を設置し、学力の向上に力を注いでいく。提言については新たな物は求めないが、現状を維持するともにも一層の向上を求めていく。

川上教育長 現状の学力を維持し、中学校も揃って高知県の上位にあげていく事が今後の大きな課題だ。

課題を掲げている以上、1・2年で止める状況ではない。概ね3年後には目処は立てなければならぬ。職員の異動などによって成果が絶える事のないよう、継続性を持った取り組みを3年間で確立していく。